

- 日米安保条約の廃棄、米軍基地撤去
- 自衛隊の海外派兵反対
- 独立・平和・非同盟の日本を

安保廃棄

第513号 2024年2月号
安保破棄中央実行委員会
 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-11-13 MMビル5F
 ☎ 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765
 Eメール anpohaiki@nifty.jp
 http://anpohaiki.news.coccan.jp/index.html
 毎月1回1日発行/定価100円/年間購読料1800円(送料含む)
 郵便振替 00120-3-253220



安保破棄中央実行委員会の幹事会

政権倒し戦争国家止めよう 安保中央2024年度幹事会

安保破棄中央実行委員会は1月25日、東京・文京区の全日本医連会議室でオンラインを兼ねて2024年度幹事会を開き、運動方針、役員などを決定しました。衛藤浩司事務局長が開会あいさつし、「戦争国家づくり」とたたかい、辺野古新基地を許さない運動などを強めるため運動方針の確立を訴えました。

幹事会は議長に千坂純日本平和委員会事務局長を選出して進行。

東森英男事務局長が運動方針案を提案。その中では、

2023年のたたかいを引き継いで、「安保3文書」の具体化による大軍拡を許さないたたかいの強化、政府の代執行による辺野古・大浦湾の工事で新局面を迎えた辺野古新基地は許さない(自由法曹団)、軍拡予算反対や能登地震被災者支援、弾薬庫問題にとりくむ(新日本婦人の会)、オスプレイ配備撤回の署名強化(安保東京)など、具体的な運動が紹介されるとともに、軍拡などについての宣伝や対話の在り方についても深められました。

幹事会は2024年度運動方針など全議案を採択し、新年度の役員を選出し、林竜二郎事務局長のあいさつで閉会しました。(新役員などを2面に掲載)



新宿での宣伝行動(訴えるのは里吉都議会議員)

里吉ゆみ日本共産党都議会議員、千坂純・日本平和委員会事務局長、石黒之侘子・婦人民主クラブ副会長、衛藤浩司・全労連常任幹事、北川順子・食品一般ユニオン書記長、岸本正人・安保破棄中央実行委員会事務局長が、それぞれ、辺野古新基地中止や地震被災者救援を求め、政治の転換を訴えました。

通行人が、辺野古新基地中止、軍拡・増税反対の署名に応じました。

沖縄 たたかいの現場から 瀬長 和男 沖縄県統一連事務局長

代執行で動き出した大浦湾埋め立て 「憲法番外地、許さない決意」

福岡高裁那覇支部は、昨年12月20日に名護市辺野古での新基地建設をめぐる代

執行訴訟で、国の請求通り玉城デニー知事に設計変更申請を承認するよう求める判決を下しました。

代執行が認められるための3つの要件として、①知事の法定受託事務の管理や執行が明確な法令違反と言

えるのか、②代執行以外に方法がないのか、③玉城知事の「不承認」の判断が著しく公益を侵害と言え

るのか、が問われていました。が、今回の判決もまた、国の主張を全面的に認め、県が主張していた対話による解決や県民の民意こそが公益との主張がごとごとく無視されてしまいました。

判決文には、「沖繩の歴史の経緯等を踏まえれば、沖繩県民の心情は十分に理解できる」と、沖繩に寄り添うような付言を付けていますが、「国の決定には逆らうな」と言わんばか

りの不当極まりない判決です。そのため、玉城デニー知事は12月27日に、代執行訴訟の判決を不服として福岡高裁那覇支部に上告受理を申し立てました。会見で玉城知事は、「地方自治を否定する先例となりかねない

い」と訴え、改めて国に県との対話を求め、沖繩の事務処分の権限を奪う代執行は「全ての都道府県に起こり得る」と警鐘を鳴らし、28日、地方自治法に基づき代執行で知事に代わって設計変更申請を承認し、

止まっていた大浦湾側の埋立て工事が動き出すことになりました。

それでも、公有水面埋立法に基づき知事権限をすべて失ったわけではなく、前代未聞の難工事となる地盤改良工事では、今後も複数回設計変更が見込まれ、新たな設計変更申請に対して知事権限はこれまで通り行使できると、行政法を専門とする徳田博人琉球大学教授は指摘しており、より一層玉城知事を支え、たたか

いを強化していくことが求められています。

事前協議も無視し強行する政府

沖繩防衛局は、年明けから大浦湾での工事の準備に動き出し、1月12日にも海上作業ヤード構築のための工事開始を予告していましたが、準備が整ったとし

て、10日から大浦湾の埋め立て予定水域の北側で石材投入を実施しました。ホーブスボットに認定され、生態系豊かで世界的にも保護すべき海とされた大浦湾に投入された石材は、投入されるたびに白い粉塵が上がり、汚濁防止膜の枠内の海水はたちまち濁りだしてしまいました。

代執行によって動き出した工事であり、本来は沖繩県との事前協議が必要なのですが、ここでも防衛局は、事前協議は必要ないと勝手に判断し、海上作業ヤード造成工事に着手しています。

代執行であっても許認可権限は引き続き県にあり、ながらも、「ダメなもの



「今日からあらためてみんな頑張ろう」と訴える稲嶺進さん(1月12日)

が、その思いを持つダメだと、その思いを持って今日からまた改めてみんな頑張ろう」と参加者を励ましていました。

座り込みの現場では今日も、逮捕者を出さない、けが人を出さない、そして誰でも参加できる安心・安全な座り込み行動を呼び掛け、1分でも1秒でも工事を止めたいと、毎日ゲート前に集まって抗議の意思を示し続けています。県外からの参加も徐々に増えており、座り込み市民を励ましています。

沖繩県民は決してあきらめません。平和な沖繩、日本を実現するためにも声をあげ続けましょう。

この背景には、日本での受刑を「不当な拘束」だとして本国送還や釈放を求めていた米上院マイク・リー議員などの動きがある。リー議員は日本は米兵と家族と米国に謝罪すべきだと主張している▼私たちは昨年未、斎藤法務大臣に移送を認めないよう要請してきた。それは日本の国家主権にかかわる問題であるからだ▼今回の出来事は過去の忌まわしい事件を思い出させる。1955年、米軍占領下の沖繩で、米陸軍のアイザック・ハート軍曹が6歳の女子を暴行し殺害、米軍のゴミ捨て場に遺棄した「由美子ちゃん事件」の顛末だ。沖繩の怒りの中で米軍法会議はハート軍曹に死刑判決を下した。しかし、その後ハート軍曹は米本国に移送され、ハートとその家族は「沖繩人の反米感情の犠牲になった」と主張し重労働刑45年に減刑され、収監22年で自由となっている▼占領下の沖繩と今の日本に違いはあるのか。

辺野古新基地やめて 地震被災者に支援を

安保破棄中央実行委員会は23日、東京・新宿駅南口で定例とオスプレイ配備撤回を中

た。各団体から10人が参加し、辺野古新基地工事中止の膨大な予算は能登半島地震被災者救援に充てるべきと訴えました。また、墜落事故が絶えないオスプレイの配備撤回を訴えました。

2021年5月に静岡県富士宮市で3人を死傷させた自動車転送(過失致死傷)の罪で禁固3年の判決を受け、日本でも服役していた横須賀基地所属の米海軍兵、リッジ・アルニコラス受刑者が昨年末に米国に移送され、今日12日に仮釈放された▼これは「国際受刑者移送条約」に基づくもの。この背景には、日本での受刑を「不当な拘束」だとして本国送還や釈放を求めていた米上院マイク・リー議員などの動きがある。リー議員は日本は米兵と家族と米国に謝罪すべきだと主張している▼私たちは昨年未、斎藤法務大臣に移送を認めないよう要請してきた。それは日本の国家主権にかかわる問題であるからだ▼今回の出来事は過去の忌まわしい事件を思い出させる。1955年、米軍占領下の沖繩で、米陸軍のアイザック・ハート軍曹が6歳の女子を暴行し殺害、米軍のゴミ捨て場に遺棄した「由美子ちゃん事件」の顛末だ。沖繩の怒りの中で米軍法会議はハート軍曹に死刑判決を下した。しかし、その後ハート軍曹は米本国に移送され、ハートとその家族は「沖繩人の反米感情の犠牲になった」と主張し重労働刑45年に減刑され、収監22年で自由となっている▼占領下の沖繩と今の日本に違いはあるのか。

ピースノート

2021年5月に静岡県富士宮市で3人を死傷させた自動車転送(過失致死傷)の罪で禁固3年の判決を受け、

たたかいは新たな段階に突入

辺野古新基地建設をめぐる、沖縄防衛局が沖縄県知事に対して、埋立海域の大浦湾内に広範囲に存する軟弱地盤改良工事のための設計変更申請を出したところ、玉城県知事が不承認としたことについて、福岡高裁那覇支部は昨年12月20日、国交大臣の提訴した代執行訴訟について承認容認の判決を言い渡した。この代執行判決を受けて、公明党所属の国交大臣は12月28日に県知事に代わって承認の代執行をおこない、本年1月10日に大浦湾の埋立工事が強行着手された。

大浦湾埋立着工という新たな段階に突入したことに對して、新基地反対闘争に新たな覚悟と決意が必要となる。

代執行判決に拘束力はない

代執行判決は地方自治法に基づいたものであるが、その適用は特別例外的な場合に限定されており、これが初で唯一のものである。しかし、その代執行判決に正当性はなく、それを根拠とする代執行埋立工事に反対闘争が拘束される必要性はまったくない。

第1に、高裁判決及びその根拠付けとなった9・4最高裁判決は、玉城県知事が公有水面埋立法に基づき設計変更申請は違法で不承認としたことについて、適法か違法かの判断を回避（逃避）した。設計変更それ自体が司法による適法性判断のないまま、承認が当

正当性のない代執行は民意と未来を埋め立てることはできない

〔寄稿〕

然視され既成事実化されるという不条理の下で代執行が強行された。

第2に、県知事への承認権の法的付与は、地方自治の本旨に由来し、その具体化として地方分権改革に基づく改正地方自治法は、国と地方自治体との関係は「対等・協力」として、両者間の紛争は地方自治体の自主性・自立性を尊重して

建設反対の沖縄県民の民意を敢えて無視し、民主国家における司法の役割を放棄した。

判決の背景と勝利の方程式

行政権力と司法権力が一体となって作出した代執行判決は、大浦湾を埋め立てるのみではない。真の狙いは新基地建設反対のたたかいに「あきらめ感」を醸成形成させて、反対の民意を圧殺するという国家戦略である。それは、沖縄の未来を国家によって埋め立てることを企図している。

仲山忠克

弁護士、沖縄革新懇代表世話人



最重要であるが、一方で民意と地方自治隊員の張本人が安保体制であることの本质を看過してはならない。

それらへの最強の対抗手段は、沖縄県民自ら基地を提供したことはないとの歴史の誇りにかけて、ぶれず「あきらめず」に、反対闘争を継続することである。究極的には政治変革が必須である。

正当性のない代執行に民意と地方自治、さらに沖縄の未来を埋め立てることはできない。その決意と覚悟が今、求められている。勝利の方程式は辺野古テント村に掲げられている「一勝つ方法はあきらめないこと」である。真理は単純かつ明快である。

正念場は今後 何度でも来る

政府は埋立て着工日の1月10日、「同日を起点に、工期は9年3か月」と公表した。但し、米軍への新基地提供までの予定期間は12年後である。しかし、ほぼ完成した既設埋立部分は浅瀬で埋め立て総面積の約4分の1であるが、その埋立に要した期間は丸5年である。単純計算でも工期は15年以上とみなすことが合理的で長期化は必至である。それによする費用は防衛局

試算で9300億円（沖縄県試算は2兆5500億円）と膨大であるが、それに留まる保証はない。

地盤改良工事は砂杭7万1千本を打ち込み地盤を強化するというものであるが、技術的に可能なのは水深70メートルまでで、それ以上の最深90メートルまでの間は放置状態となる。地質学の専門家から工事中の崩落可能性も指摘されている。

さらに埋立用土砂総量は350万立方メートルで、そのすべてを沖縄県内から調達することになっているが、その7割は沖縄本島南部地域である。同地域の土砂には沖縄戦戦没者の血が染み込み、遺骨混入の可能性が高く、その使用は人道に許されないと反発は強く、調達は容易ではない。

以上の観点から新基地建設完成は危ぶまれている。それは工事の進行状況に応じて一再ならず露見するとは必至である。そうであれば、新基地反対闘争は、代執行判決により法的正念場は過ぎたとはいえず、運動論的正念場はたたかいが継続している限り今後何度か出現せざるを得ない。

政府にとっての改良工事のスタートは、新基地反対闘争にとっては新たな不屈のたたかいのスタートである。沖縄県内には、世界一危険な普天間飛行場の早期無条件返還、国内的には安保3文書で表明された戦争国家づくりの阻止、憲法9条改憲阻止、それらのたたかいと結合した全国的な新基地反対闘争の高揚が強く求められている。



続く辺野古でのたたかい

安保破棄中央実行委員会

2024年度役員

- 事務局長 東森英男 (出版労連) 千坂純 (平和委員会) 橋本千晴 (全教)
- 事務局長次 衛藤浩司 福本心 (新婦人) 藤原麻子 (全労連) 木下興 (民医 (農民連) 山崎世理 (日本連) 林龍二郎 (共産党) 医労連) 山添健之 (自由連) 常任幹事 池田法仁 (法曹連) 吉原太一 (国公労 (全商連) 板山裕樹 (自治連) (原水協)
- 小泉親司 (共産党) 渡邊一博 (生協労連)
- 酒巻眞世 (民青同盟) 鈴木正明 (建交労 住田治) 〇オプザバー 首都圏

安保破棄中央実行委員会

代執行による工事着手に抗議し中止を求める

着手に抗議し、中止を求める」との木原稔防衛大臣宛の文書を担当官に手渡し、要請しました。

要請書では、「工事の強行は、この間の沖縄県知事選挙や2019年実施の沖縄県民投票で表明された、新たな基地建設のための埋め立てを拒否するという民意を踏みにじるものであり、許されません」と述べています。また、「憲法で保障された地方自治体の権限を踏みにじる点でも大きな問題があります」と指摘。

さらに、政府が「普天間基地の返還」を打ち出してからすでに28年が経過し、政府の試算によっても新基地引き渡しまでに12年かかるとされており、政府の言う「一日も早い普天間基地の危険性除去」は実態を伴っていません。

東森事務局長は、防衛省に対して要請する

東森事務局長(左)

2024年度 安保破棄実行委員会

委員会の役割と活動(幹事会決定)

(東京、埼玉、千葉、神奈川) 各安保破棄実行委員会

2024年のたたかいは、許さないたたかい、オスプレイ配備撤回、日米地位協定抜本改定など、アメリカ力「戦争国家」づくりとの2年目のたたかいついて、本言いなりをただす国民的運動の構築が重要な課題となります。

このたたかいついてのも、こうした運動を、金権腐敗の自公政権を終わらせる

して「普天間基地の閉鎖撤去を求める立場で米国と交渉を行なうこと」「基地問題の解決に向けて沖縄県との話し合いを行なうこと」を求めました。

総がかり行動実行委員会 は、最高裁に対して公正な判決を求める団体署名運動をおこなうことを確認しました。

これをを受けて安保破棄中央実行委員会は、近く団体署名運動を呼びかけることにしています。最高裁の審理は短期間が予想され、集中した取り組みが求められます。

公開された写真を見ても、今回の(降下訓練始め)が米軍主導のもとに実施されたと推測されます。

昨年11月の米空軍オスプレイCV-22の墜落事故について、木原防衛大臣が1月23日の記者会見で、「16年降下訓練(始め)を強行しました。今回は、例年とは大きく異なり、アメリカをはじめ8か国が参加する多国間演習として実施されました。

今回は、前々日の5日

基地情報

陸自が米国などと降下始め訓練



「空挺部隊指揮官会議」を開催した後に実施されました。この会議に参加した10数か国の内8か国が参加したのです。この点に、今回の(降下訓練始め)の特色があります。あわせて、参加した8か国は、すべて、74年前の朝鮮戦争時に締結された「朝鮮国連軍地位協定」の締約国です。まるで、朝鮮戦争時の国連軍の再現ともいえる状況です。

昨年11月の米空軍オスプレイCV-22の墜落事故について、木原防衛大臣が1月23日の記者会見で、「16年降下訓練(始め)を強行しました。今回は、例年とは大きく異なり、アメリカをはじめ8か国が参加する多国間演習として実施されました。

今回は、前々日の5日

土地利用規制法4回目の区域候補

米軍基地中心に184か所

政府は昨年12月26日に土地等利用状況審議会を開催し、全国28都道府県の184か所を4回目の指定区域候補として示しました。内訳は、注視区域151、特別注視区域33です。

今回は、沖縄をはじめ全国の米軍基地が候補に挙げられており、2月に指定するとしています。

政府はこれまで、2022年12月、2023年6月、同年11月と3回にわたって区域指定をおこなってきました。これまでに指定された区域は、注視区域284か所、特別注視区域115か所、合計399か所です。今回候補に示された区域を含めると、注視区域435、特別注視区域1435、合計578か所となり、

8、合計583か所となり、政府が予定していた600か所に近いものとなります。区域は全国48都道府県にあり、種別では自衛隊施設458、米軍施設51、海上保安庁16、原子力施設23、空港9、国境離島85です。今後、本格的な監視体制をはじめ法の運用がおこなわれることになり、法の乱用を許さず、廃止を求める運動が重要になります。

土地利用規制法4回目の区域指定候補

区 域	名称(★は特別注視区域)
北海道岩内郡共和町、北海道古宇郡泊村 <p>青森県青森市 青森県弘前市 青森県八戸市</p>	泊発電所 ★青森駐屯地 弘前駐屯地 ★八戸駐屯地、八戸航空基地、八戸貯油施設 八戸駐屯地、八戸貯油施設 八戸貯油施設 八戸貯油施設 ★車力高射教育訓練場、車力通信所 ★三沢基地、三沢飛行場
青森県上北郡おいらせ町 青森県五所川原市、青森県つがる市 青森県三沢市、青森県上北郡六戸町、青森県上北郡東北町、青森県上北郡おいらせ町 青森県むつ市、青森県下北郡風間浦村 青森県むつ市、青森県下北郡東通村	防衛統合デジタル大石八森無線中継所 ★樺山送信所 リサイクル燃料備蓄センター ★大湊地方総監部、大湊衛生隊診療所、芦崎貯油所、大湊航空基地、大湊弾薬整備補給所、障子山航空 保安無線所、大湊分屯基地 大湊航空基地、大湊弾薬整備補給所 障子山航空保安無線所 ★近川受信所 ★竜飛警備所
青森県むつ市	防衛統合デジタル野辺地無線中継所
青森県東津軽郡外ヶ浜町、青森県北津軽郡中泊町 青森県上北郡野辺地町、青森県上北郡東北町、青森県上北郡七戸町 青森県上北郡東北町 青森県上北郡六ヶ所村	防衛統合デジタル天間林無線中継所 東北町分屯基地 日本原燃株式会社 再処理事業所、日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 ★下北海洋観測所、下北試験場 下北試験場 東北電力株式会社 東通原子力発電所 防衛統合デジタル倉石無線中継所 岩手駐屯地 ★山田分屯基地 防衛マイクロ拜峠通信中継所 防衛マイクロ東稲山通信中継所
青森県下北郡東通村	防衛マイクロ折爪通信中継所
青森県下北郡東通村 青森県三戸郡五戸町 岩手県盛岡市、岩手県滝沢市 岩手県宮古市、岩手県下閉伊郡山田町 岩手県花巻市 岩手県一関市、岩手県奥州市、岩手県西磐井郡平泉町 岩手県二戸市、岩手県九戸郡軽米町、岩手県九戸郡九戸村 宮城県石巻市、宮城県牡鹿郡女川町 宮城県角田市、宮城県柴田郡柴田町 宮城県登米市 宮城県東松島市 宮城県伊具郡丸森町 宮城県伊具郡丸森町、福島県相馬市 宮城県宮城郡松島町、宮城県黒川郡大郷町 宮城県黒川郡大和町、宮城県黒川郡大衡村 秋田県秋田市	女川原子力発電所 船岡駐屯地 防衛統合デジタル豊里無線中継所 松島基地 デジタル次郎太郎山無線中継所 防衛マイクロ手倉山通信中継所 反町分屯地
秋田県男鹿市 福島県福島市 福島県郡山市 福島県白河市、福島県西白河郡泉崎村 福島県田村市、福島県双葉郡川内村 福島県双葉郡楢葉町、福島県双葉郡富岡町 茨城県日立市、茨城県那珂郡東海村 茨城県古河市 茨城県石岡市、茨城県桜川市 茨城県ひたちなか市 茨城県ひたちなか市、茨城県那珂郡東海村 茨城県那珂市、茨城県那珂郡東海村 栃木県宇都宮市 栃木県宇都宮市、栃木県下野市、栃木県河内郡上三川町 栃木県矢板市、栃木県那須塩原市 埼玉県さいたま市 埼玉県熊谷市、埼玉県深谷市 埼玉県所沢市 埼玉県朝霞市、埼玉県和光市、埼玉県新座市、東京都板橋区、東京都練馬区 埼玉県新座市、東京都清瀬市、東京都東久留米市 埼玉県坂戸市、埼玉県入間郡毛呂山町 東京都港区、東京都品川区、東京都目黒区、東京都世田谷区、東京都渋谷区 東京都世田谷区 東京都立川市、東京都昭島市、東京都国分寺市、東京都国立市 東京都立川市、東京都昭島市、東京都福生市、東京都武蔵村山市、東京都羽村市、東京都西多摩郡瑞穂町 東京都青梅市、東京都西多摩郡日の出町 東京都町田市、神奈川県相模原市 東京都小平市、東京都国分寺市 神奈川県横浜市、神奈川県川崎市	大和駐屯地
秋田県男鹿市 福島県福島市 福島県郡山市 福島県白河市、福島県西白河郡泉崎村 福島県田村市、福島県双葉郡川内村 福島県双葉郡楢葉町、福島県双葉郡富岡町 茨城県日立市、茨城県那珂郡東海村 茨城県古河市 茨城県石岡市、茨城県桜川市 茨城県ひたちなか市 茨城県ひたちなか市、茨城県那珂郡東海村 茨城県那珂市、茨城県那珂郡東海村 栃木県宇都宮市 栃木県宇都宮市、栃木県下野市、栃木県河内郡上三川町 栃木県矢板市、栃木県那須塩原市 埼玉県さいたま市 埼玉県熊谷市、埼玉県深谷市 埼玉県所沢市 埼玉県朝霞市、埼玉県和光市、埼玉県新座市、東京都板橋区、東京都練馬区 埼玉県新座市、東京都清瀬市、東京都東久留米市 埼玉県坂戸市、埼玉県入間郡毛呂山町 東京都港区、東京都品川区、東京都目黒区、東京都世田谷区、東京都渋谷区 東京都世田谷区 東京都立川市、東京都昭島市、東京都国分寺市、東京都国立市 東京都立川市、東京都昭島市、東京都福生市、東京都武蔵村山市、東京都羽村市、東京都西多摩郡瑞穂町 東京都青梅市、東京都西多摩郡日の出町 東京都町田市、神奈川県相模原市 東京都小平市、東京都国分寺市 神奈川県横浜市、神奈川県川崎市	秋田駐屯地 秋田分屯基地、秋田空港 ★加茂分屯基地 福島駐屯地 郡山駐屯地 防衛マイクロ烏峠通信中継所 ★大滝根山分屯基地 福島第二原子力発電所
神奈川県横浜市の、神奈川県川崎市	東海第二発電所 古河駐屯地 八郷無人中継所 施設学校 原子燃料工業株式会社 東海事業所
神奈川県相模原市の、神奈川県座間市の、神奈川県横須賀市の	三菱原子燃料株式会社 北宇都宮駐屯地 宇都宮駐屯地
神奈川県横須賀市の、神奈川県三浦市の	八方無線中継所 大宮駐屯地 熊谷基地 所沢通信施設 朝霞駐屯地、朝霞高射教育訓練場、キャンプ朝霞
神奈川県横須賀市の、神奈川県逗子市の	大和田通信所
神奈川県秦野市の、神奈川県伊勢原市の、神奈川県大和市の、神奈川県海老名市の、神奈川県綾瀬市の 新潟県柏崎市の、新潟県刈羽郡刈羽村 富山県砺波市 石川県羽咋郡志賀町の 福井県福井市の、福井県鯖江市の 福井県敦賀市の 福井県三方郡美浜町の 福井県大飯郡高浜町の 福井県大飯郡おおい町の 山梨県南都留郡忍野村、山梨県南都留郡山中湖村 長野県松本市 静岡県静岡市の 静岡県沼津市の	川角送信所 衛生学校、艦艇整備研究所、ニューサンノー米軍センター 用費支処 東立川駐屯地、立川駐屯地 ★横田基地、横田飛行場
神奈川県秦野市の、神奈川県伊勢原市の、神奈川県大和市の、神奈川県海老名市の、神奈川県綾瀬市の 新潟県柏崎市の、新潟県刈羽郡刈羽村 富山県砺波市 石川県羽咋郡志賀町の 福井県福井市の、福井県鯖江市の 福井県敦賀市の 福井県三方郡美浜町の 福井県大飯郡高浜町の 福井県大飯郡おおい町の 山梨県南都留郡忍野村、山梨県南都留郡山中湖村 長野県松本市 静岡県静岡市の 静岡県沼津市の	柚木中継所 陸上装備研究所、相模総合補給廠 小平学校 横浜駐屯地 横浜ノース・ドック 艦艇整備研究所川崎支所 鶴見貯油施設 ★座間駐屯地、キャンプ座間 久里浜通信学校、艦艇整備研究所久里浜地区、株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 観音崎警備所 ★武山駐屯地、武山高射教育訓練場、横須賀海軍施設 逸見庁舎、長浦庁舎、横須賀警備隊庁舎、比与宇弾庫、比与宇施設、補給倉庫、艦船補給処、自衛隊横須賀病院、第2術科学校支援船係留施設、田浦地区港湾施設、船越庁舎、吾妻倉庫地区、横須賀海軍施設、浦郷倉庫地区 秦野大山通信所 厚木航空基地、厚木海軍飛行場
神奈川県秦野市の、神奈川県伊勢原市の、神奈川県大和市の、神奈川県海老名市の、神奈川県綾瀬市の 新潟県柏崎市の、新潟県刈羽郡刈羽村 富山県砺波市 石川県羽咋郡志賀町の 福井県福井市の、福井県鯖江市の 福井県敦賀市の 福井県三方郡美浜町の 福井県大飯郡高浜町の 福井県大飯郡おおい町の 山梨県南都留郡忍野村、山梨県南都留郡山中湖村 長野県松本市 静岡県静岡市の 静岡県沼津市の	柏崎刈羽原子力発電所 富山駐屯地 志賀原子力発電所 鯖江駐屯地 敦賀発電所 美浜発電所 高浜発電所 大飯発電所 北富士駐屯地
神奈川県秦野市の、神奈川県伊勢原市の、神奈川県大和市の、神奈川県海老名市の、神奈川県綾瀬市の 新潟県柏崎市の、新潟県刈羽郡刈羽村 富山県砺波市 石川県羽咋郡志賀町の 福井県福井市の、福井県鯖江市の 福井県敦賀市の 福井県三方郡美浜町の 福井県大飯郡高浜町の 福井県大飯郡おおい町の 山梨県南都留郡忍野村、山梨県南都留郡山中湖村 長野県松本市 静岡県静岡市の 静岡県沼津市の	松本駐屯地 浜石岳無人中継所 艦艇整備研究所大瀬実験所

※区域は、内閣総理大臣告示において図面に示す部分に限る
特別注視区域33箇所、注視区域151箇所（地図略）

区 域	名称(★は特別注視区域)
静岡県島田市、静岡県掛川市 静岡県富士市、静岡県裾野市 静岡県焼津市、静岡県藤枝市 静岡県御殿場市、静岡県駿東郡小山町 静岡県御殿場市	岳山無人中継所 越前岳通信中継所 静浜基地、静浜送信所 滝ヶ原駐屯地、富士岩合地区 板妻駐屯地 駒門駐屯地 ★御前崎分屯基地 浜岡原子力発電所 富士学校 桂駐屯地 宇治駐屯地 福知山駐屯地 空山タカン地区、空山気象レーダー地区 ★舞鶴衛生隊、舞鶴警備隊、舞鶴造修補給所浜地区、舞鶴造修補給所、北吸係留所、第1区、白浜火薬庫、岩子火薬庫、舞鶴弾薬整備補給所機雷倉庫地区、舞鶴海上訓練指導隊、舞鶴弾薬整備補給所、舞鶴航空基地 大波燃料貯蔵所、舞鶴衛生隊、舞鶴警備隊、舞鶴造修補給所浜地区、舞鶴造修補給所、白浜火薬庫、乙島火薬庫、岩子火薬庫、舞鶴弾薬整備補給所機雷倉庫地区、舞鶴海上訓練指導隊、舞鶴弾薬整備補給所、舞鶴航空基地 横山中継所 舞鶴警備隊瀬崎地区 大久保駐屯地
静岡県御前崎市	祝園分屯地
静岡県駿東郡小山町 京都府京都市、京都府向日市 京都府京都市、京都府宇治市 京都府福知山市 京都府舞鶴市	★経ヶ岬分屯基地、経ヶ岬通信所 奈良送信所 和歌山駐屯地
京都府宇治市、京都府城陽市、京都府久世郡久御山町 京都府京田辺市、京都府相楽郡精華町、奈良県生駒市 京都府京丹後市、京都府与謝郡伊根町 奈良県奈良市 和歌山県日高郡美浜町、和歌山県日高郡日高町 和歌山県日高郡由良町 和歌山県東牟婁郡串本町 島根県松江市 岡山県岡山市 岡山県岡山市、岡山県玉野市 岡山県空岡市、岡山県浅口市、岡山県浅口市郡庄町 岡山県備前市 岡山県和気郡和気町 岡山県勝田郡勝央町、岡山県勝田郡奈義町 広島県大竹市、山口県岩国市 山口県下関市	福石無線中継所 木倉無線中継所 日本原駐屯地 ★岩国航空基地、岩国飛行場 華山送信所 下関基地隊 六連島S I F局舎 小月航空基地 山口駐屯地 ★見島分屯基地 大平山無線中継所 防府北基地、防府送信所 ★美川送信所 艦艇整備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト 祖生通信所 ★銭壘山無線中継所 上郷無線中継所 琴海無線中継所 長浦岳レーダー観測所 野母崎無線中継所 相浦駐屯地 崎辺分屯地、佐世保補給所西倉庫、佐世保基地業務隊、太田貯油所、佐世保造修補給所火工整備所、佐世保警備隊、金山弾薬庫、針尾弾薬庫、佐世保ドライ・ドック地区、赤崎貯油所、佐世保弾薬補給所、庵崎貯油所、針尾島弾薬集積所、立神港区 烏帽子岳無線中継所 佐世保衛生隊、平瀬庁舎、平瀬隊舎 ★佐世保補給所西倉庫、平瀬待機所、佐世保地方総監部、佐世保衛生隊、平瀬庁舎、平瀬隊舎、佐世保基地業務隊、佐世保海軍施設、佐世保ドライ・ドック地区、赤崎貯油所、佐世保弾薬補給所、立神港区 ★針尾送信所 横瀬貯油所 大分弾薬支処 別府駐屯地 佐伯基地分遣隊 国東通信中継所 山浦無人中継所 湯布院駐屯地 玖珠駐屯地 ★那覇駐屯地、那覇高射教育訓練場、那覇基地、那覇港湾施設、那覇空港、那覇海上保安部 那覇港湾施設、那覇空港、那覇海上保安部 牧港補給地区、第十一管区海上保安本部、那覇海上保安部 ★白川高射教育訓練場、嘉手納弾薬庫地区、キャンプ・シールズ、トリイ通信施設、嘉手納飛行場、キャンプ瑞鳳覧、普天間飛行場、陸軍貯油施設
山口県下関市、山口県山陽小野田市 山口県山口市 山口県萩市 山口県防府市、山口県周南市 山口県防府市 山口県岩国市	長崎無線中継所 長崎県長崎市 長崎県佐世保市
山口県岩国市、山口県柳井市 山口県光市、山口県熊毛郡田布施町 長崎県長崎市、長崎県西海市	長崎県佐世保市、長崎県西海市 長崎県西海市 大分県大分市 大分県別府市 大分県佐伯市 大分県豊後高田市、大分県国東市 大分県杵築市、大分県国東市 大分県由布市 大分県玖珠郡玖珠町 沖縄県那覇市、沖縄県豊見城市
長崎県長崎市 長崎県佐世保市	沖縄県那覇市、沖縄県浦添市
長崎県佐世保市、長崎県西海市 長崎県西海市 大分県大分市 大分県別府市 大分県佐伯市 大分県豊後高田市、大分県国東市 大分県杵築市、大分県国東市 大分県由布市 大分県玖珠郡玖珠町 沖縄県那覇市、沖縄県豊見城市	沖縄県宜野湾市、沖縄県沖縄市、沖縄県うるま市、沖縄県国頭郡恩納村、沖縄県中頭郡読谷村、沖縄県中頭郡嘉手納町、沖縄県中頭郡北谷町、沖縄県中頭郡北中城村、沖縄県中頭郡中城村 沖縄県浦添市、沖縄県宜野湾市、沖縄県中頭郡中城村 沖縄県沖縄市、沖縄県うるま市 沖縄県沖繩市 沖縄県うるま市、沖縄県国頭郡恩納村 沖縄県うるま市
長崎県長崎市 長崎県佐世保市	沖縄県中頭郡読谷村 沖縄県名護市、沖縄県国頭郡本部町 沖縄県名護市
長崎県長崎市 長崎県佐世保市	沖縄県糸満市、沖縄県島尻郡八重瀬町
長崎県長崎市 長崎県佐世保市	沖縄県島尻郡八重瀬町 沖縄県糸満市 沖縄県沖縄市、沖縄県うるま市 沖縄県うるま市
長崎県長崎市 長崎県佐世保市	沖縄県うるま市、沖縄県国頭郡恩納村、沖縄県国頭郡金武町 沖縄県国頭郡国頭村
長崎県長崎市 長崎県佐世保市	沖縄県国頭郡国頭村、沖縄県国頭郡東村 沖縄県国頭郡東村 沖縄県国頭郡恩納村、沖縄県国頭郡宜野座村、沖縄県国頭郡金武町 沖縄県国頭郡金武町 沖縄県国頭郡伊江村
長崎県長崎市 長崎県佐世保市	★国頭受信所 沖縄島（一）～（三）※3箇所 沖縄島（四） 沖縄島（五） ★キャンプ・ハンセン
長崎県長崎市 長崎県佐世保市	キャンプ・ハンセン 伊江島

